



SANJO ROTARY CLUB

三条ロータリークラブ

2009.12.9 (No.2573)

週報 No. 22

第2560地区ガバナー／植木 康之
 会 長／菊池 涉
 会長エレクト／樺山 仁(クラブ奉仕A)
 副 会 長／山田 富義(クラブ奉仕B)
 幹 事／松永 一義
 S A A／成田 秀雄
 会 計／石月 良典

例会日／毎週水曜日12:30～
 例会場及び事務局／
 三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店内
 例会場／TEL 34-3311
 事務局／TEL 35-3477 FAX 32-7095

E-mail: sanjo-rc@cpost.plala.or.jp
 http://www.soho-net.ne.jp/~rotary/
 (〃はshiftを押しながら“へ”のキーを
 押してください)

- 本日の出席会員数:55名中37名
- 先々週出席率:86.0%

季節のお花 (ポーリアンサー)



会長挨拶

菊池 涉 会長

サンタクロースって本当にいるんですか？



ご挨拶申し上げます。

来週はクリスマス例会、再来週は休日ということで、これが今年のお挨拶になるかと思えます。今日は坊主の私がサンタクロースの話です。

1987年9月21日、ニューヨーク・サン新聞にこのような社説が載りました。

ニューヨーク・サン新聞社にこの度次のような手紙が届きました。早速社説で取り上げてお返事したいと思います。この手紙を差し出した人が、こんなに大切な質問をするほど私たちが信頼してくださったことに、記者一同たいへんうれしく思っています。

きしゃさま。わたしは8つです。

わたしの友だちに「サンタクロースなんていないんだ」といっている子がいます。

パパにきいてみたら、「サン新聞に問い合せてごらん」といいました。

ですからお願いです。教えてください。サンタクロースって、本当にいるんでしょうか？

バージニア・オハンロン



「ロータリーの未来は、
あなたの手の中に」

2009～2010年度国際ロータリーのテーマ

バージニア、お答えします。サンタクロースなんていないんだという、あなたのお友達は寂しい子です。あなたのお友達はまちがっています。…

そうです、バージニア。サンタクロースがいるというのは決して嘘ではありません。この世の中に愛や人への思いやりや真心があるのと同じように、サンタクロースは確かにいるのです。…

サンタクロースがいなければ、人生の苦しみを和らげてくれる、子供らしい信頼も詩もロマンスもなくなってしまうでしょうし、私たち人間の味わいや喜びは、ただ目に見えるもの、手で触れるもの、感じるものだけになってしまうでしょう…

サンタクロースを見た人はいません。けれども、それはサンタクロースがいらないという証明にはならないのです。この世界で一番確かなことは、それは、子供の目にも大人の目にも見えないものなのですから。…この世の中にある、見えないもの、見ることができないものが、何から何まで人が頭の中で作り出した、想像したものだなどということは決してないのです。

サンタクロースがいらないですって？

とんでもない！うれしいことにサンタクロースはちゃんといます。それどころか、いつまでも死なないでしょう。千年後までも、百万年後までも、サンタクロースは子供たちを、今と変わらずよろこばせてくれることでしょう。

フランシス・P・チャーチ

以来、ニューヨーク・サン新聞には、毎年クリスマスの朝にはこの社説が掲載され続けているということです。

アメリカのドル紙幣には IN GOD WE TRUST (私たちは神の存在を信じます) という文字が印刷されています。目に見えるもの、手で触れられるもの、その後ろで、大きな「愛」が私たちに届いているという意味でしょう。

そんなサンタクロースの季節になりました。目に見えないものに支えられて生きているということ、チョットだけでも感じてみたら、楽しいクリスマスになると思います。

幹事報告

松永一義 幹事

◎12月16日(水) は夜例会 (ファミリークリスマスパーティー) です。お間違いのないよう、お願い致します。

◎12月23日(水) は祝日 (天皇誕生日) のため休会となります。

12月30日(水) は年末につきクラブ休会となります。

◎1月6日(水) から通常例会となります。

ニコニコBOX

菊池 渉さん

天気予報が良い方にはずれるようです。今日が今年最後の通常例会になります。早いですね、時の経つのは…。

松永一義さん

田中さん、最後の昼例会ご苦労様でした。

田中久美子さん (事務局)

最初で最後のスマイルBOXです。本日の例会で三条RC事務所卒業です。本当に長い間ありがとうございました。

ロータリーの皆様のご活躍をかげながらお祈りしております。ありがとうございました。

小越憲泰さん

来週は夜例会、クリスマスパーティーです。一人でも多くの参加期待しています。

今日は荻根澤さんの卓話楽しみです。

荻根澤隆雄さん

元カノと京都旅行に行って来ました。菊池会長、松永幹事のお陰で大変に充実、且つ楽しめました。今日はお耳汚しになりますが、よろしくお願い致します。

樺山 仁さん

田中さん、長い間協力ありがとうございました。感謝です。

荻根澤さんの卓話を楽しみにしております。

成田秀雄さん

田中さん、これまで本当にご苦労様でした。

荻根澤さん、卓話ご苦労様です。

斎藤弘文さん

今日、孫が通う松葉幼稚園でもちつき大会に参加しました。疲れしました。

渡辺勝利さん

12月中端にもかかわらず小春日和、ありがたい。

野崎喜一郎さん

弥彦線高架下を時々歩いています。多くの人達とすれちがいます。健康には気をつけましょう。

若槻八十彦さん

今年も一年お世話になりました。

田中さん、ありがとうございます。

荻根澤会員の卓話に期待しています。

熊倉昌平さん、小出子恵出さん、斎藤真澄さん、丸山行彦さん、米山智哉さん、五十嵐昭一さん、

荻根澤会員、卓話ご苦労様です。お話し楽しみです。

杉山幸英さん、武田眞二さん、佐野勝榮さん、

田中さん、長い間ご苦労様でした。

船越正夫さん、高橋 司さん、会田二郎さん、

山田富義さん、平原信行さん

荻根澤会員、卓話ご苦労様です。

田中さん、長い間ご苦労様でした。

12月9日分 ￥32,000

今年度累計 ￥523,500

1月のお祝い

◎会員誕生祝

- 1日 野崎喜一郎さん
- 11日 五十嵐昭一さん
- 11日 五十嵐晋三さん
- 20日 小越憲泰さん
- 23日 丸山行彦さん
- 24日 川瀬康裕さん
- 27日 樺山 仁さん
- 27日 野水文治さん



◎夫人誕生祝

- 16日 山田幸恵さん (富義さん)
- 17日 浅野ちか子さん (金治さん)
- 27日 渡辺美代さん (勝利さん)

◎結婚記念祝

- 7日 捧 賢一さん (ミヨエさん)

◎100%出席賞

- 26年 五十嵐晋三さん
- 25年 五十嵐昭一さん
- 20年 斎藤弘文さん
- 17年 石橋育於さん
- 3年 石月良典さん

卓 話

国際奉仕委員長 荻根澤隆雄 会員



久しぶりにお話をさせていただきます。

ロータリー財団そして米山奨学

基金に関してのお願いであります。

お願いと言いますともうお解かり

かと存じますが皆様より拠出・ご

協力を頂きたい旨のお願いです。

今年度の菊池会長の方針の中に

「財団・米山奨学基金ともに地区目標額に協力を致す。」とあります。

当委員会としても会長方針に従っての事業計画推進を掲げておりますので是非とも皆様よりのご協力を賜りたいと懇願する訳であります。また最中でもあります。

先に財団の件でお願いです。ロータリーの友11月号で月間特集として財団の事が組まれております中でP18の下段にロータリー財団の使命が載っておりますので、ついでの時にでもお目を通しておいて下さい。

さて、クラブとして1名あたり最低100ドル。今現在のロータリーレートが90円ですので、9,000円×55名で495,000円が地区よりの要請額であります。前期の会費徴収時に財団への寄付として1万円のご寄付をお願い致しておりました。無論これは強制ではなくお願いの筋であります。

全会員から拠出して頂ければ難なくクリアするのですが、今のところ大きく足りない状況であります。然るに過日の委員会打合せにおいて、打開策としてこの様にお願い致したらどうかとの結論になりました。

財団の累計額が500ドル未満の方は500ドルを、1,000ドル未満の方は1,000ドルを目標に上積みになりますが、どうかご寄付をお願い致したいと存じます。

これはクラブとしての財団への協力金のボトムアップ計画でもあります。

どうしてもご無理であればステップアップとして今回は50%、次回に残りの50%でも構いませんので宜しくお願い致します。ロータリー財団委員の皆さんでお願いに廻りますので何卒ご理解を頂きご協力賜りますようお願い致します。

無論、これ以外に「私も協力をするよ。」とおっしゃる方があればそっと私及び委員の方にお申し付け頂ければ更にこの上ない事ですので宜しくお願い致します。

次に米山奨学基金であります。これまた未だ目標

金額のお一人18,000円×55名＝99万円には中々厳しい感じが致しております。後期の年会費請求時に米山奨学基金として年会費とは別に10,000円の寄付拠出をお願い致す事になっておりますのでその節は出来る限りに全会員の皆様からご協力を賜ればとお願い致す次第です。委員長の会田さんが何れ皆様にお願ひ致す機会があるかと思っておりますので、その折にはどうかお力添えの程、お願い致します。

次に今年度より国際奉仕委員会に加わりました新竹友好クラブ委員会の話になります。先ず新竹城中ロータリークラブの年度記念式典の日程が決まりました。来年の3月30日(火)になりましたとの連絡が着ております。正式なる招待状は近々にお送り下さる様になっております。これを受けまして新竹友好クラブ委員会では式典に出席するべくツアーを企画致します。旅行計画案が出来次第に皆様にご案内をさせていただきますので宜しくお願ひを申し上げます。

また、年度内において新竹城中クラブとの世界共同奉事業計画を立案致し次年度に繋げたいと考えております。

平行して事業費の一助にとテレカ回収運動を進めております。この回収テレカを換金致し国際奉仕委員会の奉仕、事業費用の一部に充てたいと思っております。

まだ、お手元にテレカが有りましたら引き続きご頂戴賜ります様、併せてお願い致します。

国際奉仕委員会よりのお願ひとご報告はこれにて締めまして、次に余った時間の中で無駄話をさせていただきます。

かれこれ、25～6年位前ですが当時の新潟県工業技術センターが中心となって全県に渡っての声掛けで異業種交流グループ第1期生が生まれました。私はそのグループの端っこに加えて頂き今もお付き合いをさせて頂いております。当初は38社位だったと記憶を致しておりますが、県内の名立たる企業が多く入っておりました。

会員の渡辺勝利さんのシンワ測定さんもその内の1社でありました。と、過去形で言いましたが渡辺さんは交流会を通じて、当時の交流会の顧問でもありました。今は亡き長岡技術科学大学の副学長をされておりました手島先生に刺激を受けましてかどうか分かりませんが私の推測域内では何やらヒントを得まして業績の向上を図られ今日に至ったのかな～とお願ひする一人でもあります。

さて、その交流会グループも年々櫛の歯が折れる、或いは抜ける形で会員減少と相成り現在では7人と寂しい状況になっております。

私は交流会からの学び方が悪いのか卒業が中々出来ない劣等生でこうして居残っております。

でも、此処まで来ますと皆がかなり粘っこい付き合いになっており、それはそれで味のある会と感じております。が、今回はその悪い学び方の一部をお話させていただきます。

先日、グループ内僅か5人での研修旅行での見聞きの話になります。

11月18日・19日の二日間、行き先は北陸方面で金沢市、そして帰りに寄り道をし、庄川の奥にあります世界遺産に登録されております、越中五箇山と飛騨の白川郷まで脚を運びました。その時の話です。……

1日目は2社ほど企業見学ですが、それは午後の話であります。お昼少し前に金沢市に入り市内の料理屋さんでお昼を摂る事と相成りました。場所は市内を見下ろす事が出来る小高い山の中腹に位置する食事処であります。夜はさぞかし綺麗な景色が見れるのでは、と思う場所です。その小高い山とは卯辰山です。その中腹にあります料理屋さん「卯辰」であります。金沢を良く知っておられる方なら分かるかと思ひます。

価格の割には先ず先ずのボリュームと味には一応満足でした。

ふと見ると野菜サラダの中に南天の実の様なものを3個ほど見つけました。初めて見る食べ物とは気になるものが有ります。聞く所によりますと「マイクロトマト」だそうです。なるほど味わってみれば少し黄色い物・赤い物どちらもトマトの味が致しました。

プチトマトにミニトマト、そこへマイクロトマトとは恐れ入りました。

誰かがこれがトマトの原種かな？考えてみれば原種と云いますと大概が小さいですから頷きますね。どうやら5～6年位前に偶然に出来た様であります。

時間調整で東茶屋を散歩がてら散策してからの企業訪問です。

最初は創業94年の加賀製紙であります。製紙工場と云いますと物凄いスピードで紙が出来るので工程が見えない部分も有りますが、こちらは結構ゆっくりとしており、成る程良く仕組みが見えました。特に紙漉の工程が良く分かりました。

次は創業100年になる津田駒工業を訪問致しました。津田駒工業は織物即ち織機の製造が創業時からの

生業であり、現在は工作機械なども手掛けております。バイスの市場占有率は40%もあるとの事であります。感心したのは女性の販売員が終始工場見学に付き添い説明をしてくれた事と彼女は地方へ営業活動に赴くそうです。この燕三条地域を含め新潟県内各地を1週間くらい掛けて事業所を廻り営業をしておるとの事です。

工業系で地方の企業の中でこうやって女性の販売員(名刺上)いや、営業活動をされておる事に感心致しました。(社員教育)

当然の事ながら扱い商品についての質問には充分に答えて頂きました。今はピーク時の40%くらいまで回復基調にあり年内若しくは年初には50%以上の回復が見込めるとの事です。

航空宇宙産業関連、医療関連、環境関連は堅調に推移との事ですが矢張り2番底が気になっている様な発言も有りました。

完全なる空調設備環境下での精密加工技術を駆使しての魅力ある商品の開発力も秀でている感があります。

翌日は少し市内観光をしてから金沢を出て一路五箇山に向かいました。

五箇山には以前にも立ち寄った事が有りますが今回はチョット奥の方へと入り込み、昼食を摂った処が「麦乃屋昼食館」と云うお店でした。土地料理としてのメニューで堅豆腐、岩魚の天ぷら、野菜天ぷら、きのこ類の山菜、漬物、蕎麦、よもぎ蕎麦と豪華ではないが、ゆっくりと味わえる創りに堪能致しました。

店のオヤジさんが食事をしながらでもいいから「俺の話聞いてくれ。この集落の生活の話をしたいから!」等と云うものですから「はい、お願いします。」と言ったら、何と25分くらいは喋っていましたね。最初は地元で採れる物などの話で上の空で聞きながら食事をしていたのですが相互扶助の話辺りから気になって聞き入っていましたら、「この集落は特に助け合い等の精神が強く、結束力があり、富める者は貧しい者を助ける習慣がある。」

「特に重要な事は村人全員の賛成で決める、決めてしまった事は覆さない、一人でも後で云々は言わない。」

要は決めたものは「後で絶対に文句は言わない!」の精神が村社会で確立している様です。

それから集落の生活は質素儉約が旨になっているとの事です。病気見舞いのお返しはしなくとも良い、香典のお返しもしなくとも良いなど村民が無駄と思しき事はしない様です。家屋の普請なども最低限の造りで始めるとの事、生活が営まれる程度で構わな

いとん考えから何年も掛けて家作りをするとの事です。

この普請も隣り組、近隣の人達の手助けで行われており、これまた順番に行っておるそうです。

生活が出来る程度で、取敢えず雨風が凌げれば良いので居間や台所は最初に手掛けるが外壁外装は後回しであります。

成る程、説明を聞きながら向かいの家に目をやれば外壁は土壁で、仕上げ漆喰塗りは何れ年月を掛けてやるんだそうです。

お金を無理して使わない、余裕があって出来る時に手掛ける訳です。

固定資産税も最低は千円からですが、さすがに千円はあまり無いとの事です。「何せ役所が建物の評価をしに来るときは最低限の生活が出来る程度の普請ですから固定資産税は安いんですよ。」「それも年々、見直し評価損で減額されるからね。」と聞かされました。

それから相互扶助では、「今、民主党が子供手当、高校の学費云々と言っているけれど、うちの集落では学費はPTAで全て賄っているので家庭からの授業料は高校まで発生していませんよ。その辺ではこちらの方が上で、政府には何を今更の気持ちがありますね。」との事です。

先程にも言いました様に「富める者は貧しき人達を助ける。」の精神が守られていますので凄い事だと思えます。

近年に高速道路が開通しました。当然法線に係り其れなりの保証金を頂いた方は集落に寄付をしたそうです。話によれば五箇山の集落一体の山は国有或いは県有でなく個人所有が殆どなんだそうです。それと五箇山の名前の由来は元来五つの谷間を示していたそうです。つまり五箇の谷間が五箇の山になり、五箇山になったそうです。

五つの谷の名前を言われましたが覚えておりません。そんな事で店のオヤジさんが言われた事をあまり整理もしないで話しましたが陸の孤島とも言われたこの地域では厳しい自然がこの様な村社会を作った事、そして浄土真宗の信仰精神も含め人々の強い結び付き(信仰共同体?)が出来上がったとの事も淡々と話されました。

更に話はハツ場ダムを引き合いに出して、「うちの集落ではダムの話が有った時には、必ず反対派と賛成派の両方をつくり徹底的に話し合いをし、落とし所を探る謂わば折衷案を作っちゃう、良い方向に導きながら徹底的に話し合う事!!これにより今では本流と支流あわせて10数個のダムでの固定資産税が

8億円超えで入ってくる。」「八ッ場の住民はやり方が上手くなかったのでしょうか。」と付け加えました。

1千世帯・3千人の地域に8億超えのお金、住民一人当たり27万くらいの計算になります。

結局、お金の話になっちゃいましたが五箇山での社会制度或いは習慣を学者は難しい言葉などで色々で紹介しておりますが、私は良き日本の精神と形が此処に凝縮されて残っているのだと、そしてある種の「まほろばの郷である。」とも感じました。

高度成長期を終え低成長或いはマイナス成長の時代、気が付いてみたら経済偏重主義・核家族化・教育の荒廃・出鱈目政治等々で何かを忘れかけた日本人の心。本来の日本民族は「おおらかで明るく、余裕のある心を持った民族である。」と聞いた事が有ります。それは五箇山集落の生き方に見て取れます。心が明るくて余裕が無かったら、そのような相互扶助の精神は生れません。そんな意味においても五箇山は忘れかけてきた日本の心の縮図なる地域とも感じます。

そして店のオヤジさんはこうも言いました。一度はこの地域から働きに出て行った人たちも大概がこの故郷(地)に戻って来てくれる、俺もその一人だ、関西訛りに関東訛り、それに名古屋訛りと話をすれば何処に行っても来たかと直ぐ判る、いい故郷(処)だって皆出て行っても帰って来るんだから。

「やまとは 国のまほろば たたなづく青垣
山こもれる やまとし うるはし」

故郷へ帰って来て、故郷が愛おしく、美しくそして何よりも人々の温もりを感じているのでしょうか。

それを聞いて、私は本当にそう思いました。

いま、色々な問題を抱え込んでしまっている日本、政治・経済・社会と何かが狂っている様な気がします。そんな中で五箇山の良さを聞かされて、改めて日本の心に気付きました。

でも、この様な地域はまだまだ日本の何処かに沢山有る事を信じまして話を閉じますが、私の学び方はこの様に雑駁であります。捉え方がアバウトであります。故に考えが浅くて成長が出来ない・卒業が出来ないのかとも考える事も度々です。

今日は機会を与えて頂きましたプログラム委員会に感謝を申し上げます。有難うございました。

〈事務局 田中さん退職挨拶〉



挨拶と言ってもうまく言葉が見つからないのですが…。

とにかく感謝・感謝です。いたらない私をここまでいさせていただいてありがとうございました。色々なことが頭を過ぎります。例会の日々、周年行事、会員の方々の退会、

22年と5ヶ月、長かったような、短かったような気がいたします。色々なことを勉強させていただき、思いでもたくさんできました。本日の例会を最後に次回がクリスマス例会ですので、ロータリーの事務局卒業です。これからも日々充実した毎日になりたいと思います。

若さあふれる、行動力の手塚さんにバトンタッチです。またどこかでお会いしたらお声をかけていただきたいです。本当に長い間ありがとうございました。ロータリーの皆様のご活躍をかげながらお祈りしております。本当にありがとうございました。

次週例会 1月6日 卓話 名誉会員 高橋一夫 会員

次々週例会 1月13日 外部卓話 三条市長 國定勇人 様

